

令和3(2021)年度  
日本小学生バレーボール連盟  
審判関係資料



日本小学生バレーボール連盟  
審判委員会

# 令和3(2021)年度 運営基本方針

## 日本小学生バレーボール連盟

### I 基本理念

新型コロナウイルス感染症に対する状況は、子どもたちにとっての環境も一変させ、全国大会をはじめ多くの大会・練習会等が中止となり、バレーボールをすることさえもままならない状況が続く、大変な時期を迎えています。小学生バレーボールの主役は子どもたちです。このような時こそ「子どもがど真ん中にある日本小学生バレーボール連盟」の原点に戻り、子どもたちの未来(アフターコロナ)につなげる組織運営を念頭にし、今後のバレーボールの普及発展につなげる年と位置付け、着実な一歩を進めていきたいと思ひます。

### II 運営基本方針

#### 1 時代(今)をとらえた啓発事業の推進

コロナ禍においては、日々の練習もできない現状があります。また、その状況は、地域により温度差もある中では、各都道府県がそれぞれで、バレーボールを継続していくための創意工夫した取り組みが重要です。

今こそアフターコロナを見据えた時代をとらえ、今後につなげるための支援を拡充し、小学生バレーボールの普及発展につなげるための事業を、継続的に進めます。

#### 2 第41回全日本バレーボール小学生大会の新たな大会運営の実施

今年の全国大会は、オリンピック・パラリンピックの延期を受けて、奈良・和歌山・兵庫の近畿3県で開催します。また、これまで競技と両輪で進めてきた選手村を廃止することにいたしました。新たな全国大会の第一歩を踏み出すことになります。課題もたくさんありますが、全員が一つになって新しい全国大会を創り上げていきたいと思ひます。

#### 3 新たな生活様式を踏まえ、HP等の活用による情報発信

ホームページの活用等情報伝達力の推進は、選手・指導者・役員などをつなぐ、重要なコンテンツです。テレワークの推進など往來の制限等もあるコロナ禍においては、より一層の積極的活用が重要であり、そのための組織改革を行い、情報発信による広報・広聴活動の強化を推進します。

#### 4. 体罰・暴力・ハラスメント撲滅のための取り組みの強化

日小連等への「相談窓口」には、コロナ禍においても体罰のみならず各種ハラスメントなど様々な問題での相談が寄せられています。

日小連では、都道府県小連をはじめJVA・スポーツ協会等の関係諸団体と連携し、その撲滅に全力で取り組みます。

#### 5. 日本小学生バレーボール連盟を支える人材の育成（指導者・審判・役員等）

小学生バレーボールの普及発展には、指導者・審判・役員等の人材の育成は不可欠です。新型コロナウイルス感染症の拡大で、前年度実施ができなかった指導者資格の更新制度の取り組みを進め、各都道府県での独自性を持った更新講習会の実施支援を行い、各都道府県小連と連携した指導者育成に取り組みます。

また、審判・役員はじめ日本小学生バレーボール連盟に関わるすべての方々が、「分かり合い、分かち合う」相互理解の中で、組織を支える人材の育成を図ります。

#### 6. 財務システムの定着による新たな組織運営の推進

組織運営においては、コンプライアンス（法令順守）は、大原則です。小学生バレーボールの財政基盤は、MRS収入（全国の指導者や子どもたちの登録料）であることを念頭に、組織再編を行うことで、効果的・効率的な運用のための財務システムの定着を進め、更なる財務改革を推進します。

令和3年度 日本小学生バレーボール連盟  
審判委員会 運営指針

1. 審判員として
  - (1) 競技会をスムーズに運営するために必要な研修会や事前講習会に参加し、自己研鑽と共に、審判員として質の向上を図る。
  - (2) ルールを的確に適用し、公平・公正な競技運営を行う。判定技術の統一を含め、安定した審判技術とメンタル面の強化に努める。
  
2. 審判員の責務
  - (1) 選手・指導者を対象に、ルールの改・修正点や取り扱いを正確に伝達し、競技規則についての周知・徹底を図る。対象者に合わせた、わかりやすい講習会の実施を目指す。
  - (2) 指導者と審判員がお互いの立場を認め合い、ルールの正しい理解と遵守を醸成し、バレーボールの競技力向上に資すること。
  
3. 人材の育成
  - (1) 小学生バレーボールの組織を支える人材（審判員）の育成を図る。
  - (2) 次世代を担う若手審判員の育成と子育て世代の女性審判員が活躍できる環境整備の推進に努力する。
  - (3) 公認審判員の裾野の拡大に努める。
  
4. 具体的な取り組み
  - (1) バレーボール競技会における体罰・暴力・ハラスメント行為等については、不適切な行為について十分に理解をしたうえで、早期に適切な対応をとる。  
(参考資料：実践！グッドコーチング ジュニア指導編)
  - (2) グリーンカードを活用し、競技会の活性化を図る。
  - (3) コロナ禍における審判活動ガイドラインや感染予防対策の周知を行い、子どもたちの健康と安全に留意し、審判員及び役員の安全で安心な大会運営を目指すため、各委員会と連携を図る。
  - (4) 審判員一人ひとりがバレーボールを支える一員であるという意識を持ち、JVAメンバー（MRS）の登録を行い、競技会に参加し、活動する。
  - (5) 日本小学生バレーボール連盟ホームページの活用を図り、情報発信を行う。

# 令和3年度(2021年度) 審判関係資料

## JVA審判規則委員会

令和3年2月23日

### 【6人制 資料目次】

- P.5 2021年度 審判規則委員会 指針
- P.6 2020年度 事業報告(審判規則委員会 / 指導部 / 規則部)
- P.8 2021年度 6人制ルール取り扱いについて【追加事項】
- P.9 2021年度 6人制ルール取り扱いについて【再確認】
- P.11 6人制審判実技マニュアル 修正点

# 2021年度 公益財団法人日本バレーボール協会

## 審判規則委員会 指針

2021年度審判規則委員会は、以下の5項目を指針とし、各事業を推進する。

- 1 審判員は、国内競技会及び国際競技会をスムーズに運営するために必要な事前講習会に参加して審判員としての質の向上を図る。審判員の技術のレベルアップがバレーボールの競技力向上になることを忘れてはならない。
- 2 各種別において判定基準の統一を図り、安定した審判技術とメンタル面の強化に努める。また、試合中の選手やチームスタッフの言動に対しては、バレーボールとしてのインテグリティが保てるようにルールを的確に適用し、公平・公正な競技運営を行う。
- 3 選手・指導者を対象に、ルール及び取扱いについての周知・徹底を図り、正しい理解とルール遵守を醸成する。
- 4 各ブロックと連携して、A級審判員資格取得審査講習会や審判育成事業等を通して、次世代を担う若手審判員の育成を努める。また、男女共同参画をさらに進めるため、特に各カテゴリー・各都道府県にも女性審判員の活動の支援を推進する。加えて子育て世代の女性レフェリーが活躍できる環境整備を推進する。
- 5 コロナ禍における感染症対策においては、2020年度の状態を踏まえ、今後の感染状況を見据えながら、審判員の安心・安全を第一に、大会運営ができるように、柔軟に対応を行う。

- 
- 指導部：1 審判員の技術の向上を目指し、A級審判員にカテゴリーを設け、映像等も有効に活用しながら、レベルに応じスキルアップのための技術強化事業を推進する。
- 2 審判員の責務として、選手・指導者に対しルールはもとより、ルールの改・修正点や取扱い等を正確に伝達しルールの理解を深め、スムーズな大会運営だけでなく競技力の向上に資する。
  - 3 各ブロックとの連携をしながら、A級審判員だけでなく幅広く公認審判員、特に若手審判員の育成事業を実施し、裾野の拡大を図る。
  - 4 女性審判員については各世代のライフスタイルに合わせ、安心して審判活動に取り組める環境整備とともに強化事業を推進する。

規則部：見易く正確で分かりやすいルールブックの作成を目指し、4種別のケースブックの編集を行う。6人制と2人制はFIVBからの最新情報を収集し、必要に応じて改正・修正を行う。また、9人制についても競技の活性化を図るために、親しみやすいバレーボールを目指し、そのルールの研究を進める。

登録部：JVAメンバー制度(MRS)に従って、公認審判員のMRS登録の増加を目指して早期登録手続きの完了と公認審判員の現状把握を行う。

以上

# 1 2020年度 審判規則委員会 事業報告

2020年度は新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、各種事業及び国内競技会が中止となり、予定していた各種国内競技会への審判員の派遣、国際競技会への審判員の派遣が中止となった。

今年度は審判規則委員会として、審判員の安心・安全を第一に考え、コロナ禍における感染症対策について検討を行い、JVAとともに審判活動における対策を検討し、行われる大会では感染症対策の徹底を周知した。また開催された大会においては、今年度推薦をいただいたカテゴリーレフェリーを中心に、チームのルールに対する理解を深め、スムーズに運営された。

また、各種講習会については、WEB会議等を活用し、全国の各カテゴリーの審判員を通して、各審判員及びチームにルールの精神をはじめルールの取扱いについての伝達を行っていただいた。

委員会としては、正副委員長・部長会議をWEB会議で7回行い、コロナ禍における今後の審判活動や審判員の育成について検討し、さらなるバレーボール競技の発展に寄与するよう努めていきたい。

会議についてはすべてWEB会議とし、第1回審判規則委員会を7月12日(日)に、コロナ禍における審判活動や感染予防対策等についての周知を行った。また、2月11日(祝)に第2回審判規則委員会を行い、審判員の資格審査、次年度の当委員会事業計画、ならびに国内競技会への派遣審判員の調整を行った。また、2月23日(祝)には、当委員会合同会議ならびに全国審判委員長研修会を開催し、来年度の審判規則委員会の方向性を協議し、有効な事業を展開していく。

# 2 2020年度 指導部 事業報告

今年度、審判員がさらに意欲的に審判活動を行うことができる体制を目的とし、昨年度導入したカテゴリー制を改善し、2年間のスパンで見通しをもって育成していく体制を構築した。しかしながら大会やチームの強化練習等は中止となり、各種事業を行うことができなかった。

来年度は審判員の指導・育成体制のさらに充実させるため部分的に見直しを行い、A級審判員が活躍できるステージを増やしていくことで審判活動の魅力を伝え、各種別の審判員の拡充、若年層の審判員の発掘・育成につなげたい。そしてさらなる審判技術の向上を目指し、カテゴリーや目的に合った技術強化事業や研修会を開催し審判員の育成に努め、競技力向上に寄与したい。

## 3 2020年度 規則部 事業報告

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国内外の各種大会・講習会等が中止になった。またJVAとしては各種別において大きなルール改正等がないことを鑑み、2021年度はルールブックの作製を行わないと2020年10月に決定した。規則部では3回のWEB編集会議を行い、各種別のルールを確認し、特にケースブックについての検討をしてきた。2021年度の改・修正点について以下に示す。

### 3-1 6人制改正点・修正点

改正・修正なし。



## 2021年度 6人制ルールの取り扱いについて【追加事項】

### 1 ボールをプレーすること (PLAYING THE BALL) に関する事項

#### 9.1 チームのヒット (TEAM HITS)

ヒットとは、インプレー中の選手によるボールへの接触である。

(注)

- 1 インプレー中の選手長い髪の毛がボールに触れても、ヒット (ボールへの接触) と判断しない。したがって、相手のアタックヒットがブロックやレシーブ時に髪の毛に触れてもボールコンタクトと判定しない。また、ラリー中に起こる同様のケースも許容回数に含めない。

### 2 リベロ (THE LIBERO PLAYER) に関する事項

#### 19.3 リベロに関する動作 (ACTION INVOLVING THE LIBERO)

19.3.2.9 不法なリベロリプレイメントが次のラリーの開始前に発見された場合は、審判員より正しく直され、チームには遅延行為に対する罰則が適用される。

不法なリベロリプレイメントがサービスヒットの後に発見された場合は、不法な選手交代と同じ処置がされる。

(注)

- 1 アシスタントスコアラーは、サービス許可のホイッスル後からサービスのヒットの前にブザーを鳴らし指摘し、チームには遅延の罰則が適用される。この時のリベロリプレイメントは認められない。ただし、リベロがポジション4に残らなければいけない場合は、リベロリプレイメントは認められる。

## 6人制ルールの取り扱いについて 【再確認】

※注釈のみを掲載しました。詳しくはルールブックを参照してください。

### 7.3 スターティングラインアップ 【2002】

スターティングラインアップについて、両チームのラインアップをスコアラーがスコアシートに記入し終わったら、チームはラインアップを訂正することはできない。提出した後でそのセットが始まる前に、スターティングラインアップの選手が負傷した場合でも、原則として変更を認めず正規の選手交代の手続きをする。

### 15.3 正式な試合中断の要求 【2015】

何らかの理由でラリーがやり直しとなった場合（ダブルフォルト・ノーカウント）は、ラリーの完了としない。したがって、両チームからの正規の試合中断やリベロリプレイメントは認められない。ただし、選手の負傷や病気によりラリーを止めた場合は、その選手の選手交代やリベロリプレイメントは認められる。

### ※ブザー 【2015】

ラリー中、ブザーが鳴ったときの対応について

- ① スコアラーからのブザーか、ベンチからのブザーかを確認する。
- ② スコアラーからのブザーであれば、ホイッスルしてラリーを止め、内容を確認して判定する。
- ③ ベンチからのブザーであれば、ラリーを続け、ラリーが終了した時点で、「なぜ鳴ったか」「意図的かどうか」を確認し対応する。
- ④ ベンチからのブザーはあくまでも予鈴で、ブザーでラリーを止めることはしない。ラリーを止めるのはホイッスルである。

### 15.5 選手交代 【2010】

ナンバーパドルおよびブザーを使用しないときの基本的な手順は下記の通りである。

- ① 交代選手がサブスティテューションゾーンに入ったら、副審が吹笛しハンドシグナルを示す。
- ② 副審は、ポールのそばで選手交代をコントロールする。
- ③ 副審は、交代選手の方を向き、選手をサイドライン上に止まらせる。
- ④ 副審は、コート内の交代する選手に手を上げさせる。
- ⑤ スコアラーは交代できることを確認できれば、軽く手を挙げて合図を送る。交代できない場合は手を振る。
- ⑥ 副審は、スコアラーを確認し、手で合図をして選手を交代させる。
- ⑦ スコアラーはスコアシートに記入し、完了したら両手を上げる。
- ⑧ 複数の選手交代の場合は、1組ずつ③から⑦の手順を同様に行う。
- ⑨ 副審はスコアラーを確認し、完了を主審に知らせる。

#### 19.4 新しいリベロの再指名 【2011】

- ① チームに登録されているリベロ（1人もしくは2人）すべてが、負傷、病気、退場、失格、あるいはいかなる理由であってもプレーをすることができないと宣言されたとき、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、その試合の終了までリベロとして再指名することができる。
  - ◆リベロがコート上にいるときでも再指名することができる
  - ◆交代が遅れたり、準備ができていない場合は、拒否され遅延の罰則が適用される。
- ② 再指名された選手（リベロ）は、ビブスを着るか、アクティngrリベロと同じユニフォームを着る。しかし、番号は自身と同じものを付ける。
- ③ ビブスは各チームで準備する。

#### ※リベロに関する国内での特別な取り扱い 【2011】

1チームが7人（リベロが1人）、8人（リベロが2人）の場合、1名の選手が負傷や病気によりプレーの続行が不可能になった場合は、リベロを加えて6名の選手にして競技を続行することができる。ただし、7人（リベロが1人）の場合は、ユニフォームはリベロのユニフォームのままで競技することができるが、8人（リベロが2人）の場合は選手と同じユニフォームに着替えるか、ビブスをつけるなどでリベロとわかるようにしなければならない。なお、負傷や病気となった選手はその試合、コートに戻ることはできない。

#### 21 不法な行為とその罰則【2014】

- ① 1回目の軽度の不法な行為があった場合は、ステージ1として処置する。ステージ1の警告は、チームに対して行い、ゲームキャプテンを呼んで口頭で警告を行う。この警告は1度限りである。記録用紙には記載しない。また、軽度の不法な行為の程度によっては、1回目であってもステージ2から適用される場合がある。
- ② チームの2度目の軽度の不法な行為については、イエローカードを示し、スコアシートに記載される。

主審は、軽度の不法な行為を行った選手を呼び、イエローカードを示し警告する。このイエローカードはチームに対して試合を通して1回だけである。したがって、その後同チームのどの選手でも、再度、軽度の不法な行為を行った場合は、レッドカードを示し反則とする。

(例)	軽度の不法な行為 1回目	⇒	同2回目	⇒	3回目	⇒	同4回目
選手	No. 5	⇒	No. 6	⇒	No. 7	⇒	No. 8
処置	口頭に警告	⇒	イエローカード	⇒	レッドカード	⇒	レッドカード
- ③ チームに先に反則・退場・失格の罰則を適用した後に、同じチームが軽度の不法な行為を行った場合は、口頭での警告は行わず、上記のステージ2から始まり処置を行う。

(例)	不法な行為	⇒	軽度の不法な行為 1回目	⇒	同2回目	⇒	同4回目
選手	No. 5	⇒	No. 6	⇒	No. 7	⇒	No. 8
処置	レッドカード	⇒	イエローカード	⇒	レッドカード	⇒	レッドカード
- ④ セットの最終ポイント決定後の不法な行為に対する処置は、その時点で行い、直後のセット開始時に罰則を適用する。

## 6人制審判実技マニュアル 修正点

### P21 「リベロの登録」

② 選手6名、リベロ1名の構成のチームで、選手が負傷してプレーできなくなった場合、リベロが選手として参加することができる。また、選手6名、リベロ2名の構成の場合、選手が負傷してプレーできなくなった場合、どちらかのリベロが選手として参加することができる。この場合、ビブスをつけるなどでリベロとわかるようにする。負傷した選手はその試合コートに戻ることはできない。

⇒ 1チームが7人（リベロが1人）、8人（リベロ2人）の場合、1名の選手が負傷や病気によりプレーの続行不可能になった場合は、リベロを加えて6名の選手にして競技を続行することができる。ただし、7人（リベロが1人）の場合は、ユニフォームはリベロのユニフォームのまま競技することができるが、8人（リベロが2人）の場合はリベロのユニフォームに着替えるか、ビブスをつけるなどでリベロとわかるようにしなければならない。なお、負傷や病気となった選手はその試合、コートに戻ることはできない。

### P21 「リベロのリプレースメント」

② 1つのラリーの完了とは、どちらかのチームが得点を得ることが条件である。ダブルフォルト（ノーカウント）等はラリーの完了と考えない。リベロリプレースメントや正規の選手交代はできない。

⇒ 1つのラリーの完了とは、どちらかのチームが得点を得ることが条件である。ダブルフォルト（ノーカウント）はラリーの完了と考えない。正規の試合中断やリベロリプレースメントは認められない。

### P21 「リベロのリプレースメント」 **新規**

**主・副審** ⇒

④ 次のラリーの開始前に発見された場合は、審判員より正しく直され、チームには遅延行為に対する罰則を適用する。

**スコアラー・アシスタントスコアラー** ⇒

④ 不法なリベロリプレースメントが行われた時、アシスタントスコアラーは、サービスの許可のホイッスル後からサービスのヒットの前にブザーを鳴らし指摘し、チームには遅延行為に対する罰則を適用する。

### P21 「リベロの再指名」

・ チームに登録されているリベロ（1人もしくは2人）すべてが、負傷、病気、退場、失格等によりプレーをすることができないと宣言された時、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、その試合終了までリベロとして再指名することができる。

⇒ チームに登録されているリベロ（1人もしくは2人）すべてが、負傷、病気、退場、失格あるいはいかなる理由であってもプレーをすることができないと宣言された時、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、その試合終了までリベロとして再指名することができる。